

ドリームちゅうおう

3

DREAM CHUOH
MARCH 2020
No.266



今月号のCONTENTS

- 02 特集
- 04 ~次代を担う~ & 農の匠からのメッセージ
- 05 青壮年部・女性会の活動紹介 & 地域情報発信室
- 06 トピックス
- 15 JA information
- 16 直売所探検隊「満菜館」
- 17 あなたもチャレンジ! 家庭菜園 & JAイベント情報
- 18 読者からのお便り紹介/川柳
- 19 旬を食べちゃおう! おうちでごはん
- 20 クロスワードパズル



JA鳥取中央管内は恵まれた大地と農作物の栽培に適した環境、生産者の卓越した栽培技術により、全国に誇れる特産品が数多くあります。同JAの営農指導員は地域農業の振興と発展のため、生産者に寄り添い、栽培技術や販売、経営指導、相談業務にあたっています。

JAが行う営農指導事業は、JAの基礎となる事業であり、上記の業務だけではなく、地域の農業振興のためのビジョンづくりや、生産部会、集落営農組織など地域全体の営農を組織化する役割もあります。すべては、組合員の農業所得増大と農業生産拡大、農家とJAを結ぶパイプ役として、販売・購買・利用事業などにつなげる目的のため行っています。

今回の特集では、今のJA鳥取中央の営農指導の現状から、検討会での意見の集約、また今後の営農指導の在り方について紹介します。

営農指導員の業務割合(現状)

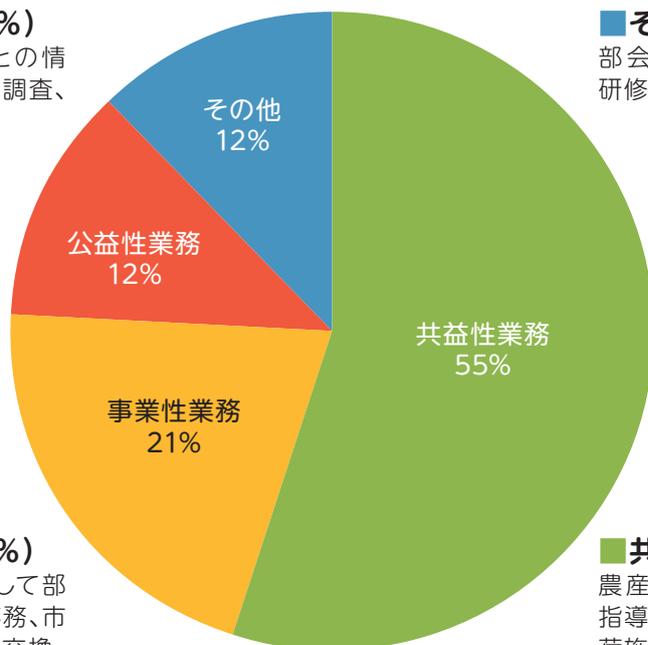
※園芸分野

■ 公益性業務(12%)

補助事業事務、行政との情報交換、災害時の被害調査、緊急対応など

■ その他(12%)

部会、役員会との懇親会、研修、出張、事務処理など



■ 事業性業務(21%)

農産物の販売業務として部会の運営、組織会計事務、市場・運送会社との情報交換、商談、販売促進、選果場の施設管理など

■ 共益性業務(55%)

農産物の現地指導業務や、指導に関する資料作成、集出荷施設の運営・管理など

JA鳥取中央の営農指導員数は2019年度18人
(営農指導員資格者で営農業務に従事する者)

営農指導事業に係る検討会

JA鳥取中央では、上記のグラフから今の営農指導員の現状をふまえ、改善に向けた検討会を行いました。検討会で話し合われたことや意見を下記の表にまとめました。

検討日	要点
2019年 9月9日	<ul style="list-style-type: none"> ●全組合員アンケートでは、89%の組合員から営農指導事業に対する期待をいただいている ●信用、共済業務との分離を踏まえて営農指導事業を検討してはどうか <p style="text-align: right;">→ 経営的改善</p>
2019年 10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ●JAの枠にとらわれずに、県市町と情報交換しながら業務を検討したい。 ●営農指導員の実際の仕事をどのように進めるのかを模索したい <p style="text-align: right;">→ 体制的改善</p>
2019年 11月15日	<ul style="list-style-type: none"> ●営農指導事業は、従来の手法から時代とともに変遷してきたので、対応が難しくなっているのが現状 ●営農事業の収支、職務を明らかにすることで2020年度の事業計画に盛り込んでいきたい <p style="text-align: right;">→ 経営的+体制的の見直し</p>

右記の事項を踏まえ、営農指導事業の現状の課題と解決に向けた案を下記にまとめました。

課題

- 1 資料作成にかかる時間が多いため、適期巡回、現地指導、土壌分析などの実施が不十分になっている。
- 2 災害時の被害調査は圃場を把握している指導員が少なく、被害調査に時間がかかってしまう。
- 3 業務時間外の会議や、交流会が多い。
- 4 資料作成にかかる時間に個人差があり、毎年変化のない資料になってしまい、一般的な指導ができていない。

解決案

- 1 大型品目の指導は、営農センターの枠を超え、情報を共有。なし、スイカなどは栽培基準などの一本化を図る。
- 2 営農指導員の連絡網を整備、地図データに災害時調査ルートを入力し、複数者による被害調査を実施する。
- 3 生産部に協力を仰ぎ、昼間の会議に移行する。
- 4 普及所、メーカーと連携し現場調査の試験結果の内容を共有する。
・新技術や新薬などの情報を生産者に適時発信する。

今後の在り方について協議を進めています

● 人材の明確化

営農指導員の養成（各品目のスペシャリストの養成を含む）、人材確保のため、品目ごとの研修会の開催や、JA指導員のOB、普及員のOBなどへの協力を仰ぎ、人材の育成を行います。

● 行政組織との連携、情報の共有化

園芸試験場、普及所との連携を強化することで、各品目の栽培情報の共有と情報発信を行います。生産者からの連絡体制を整備し、関係機関一体となった生産体制を構築していきます。

● 本所一本化による補助事業の遂行

補助事業専門職員を育成し本所に置いて一本化することで、事業希望者の全体の把握、行政との結びつき強化につなげていきます。



普及所、試験場職員と協議しながら、農産物の品質について話し合う様子



農産物の規格について説明する営農指導員（両端）

へ次代を担うへ

社会貢献で農業を活性化



鳥取特産
しろねぎ

琴浦町 白ネギ生産者 ^よ横山 ^{くに}国勝さん(35)

今回登場していただくのは、横山国勝さんです。横山さんは約7年前に就農し、現在は白ネギ約1.5ha、らっきょう約60aを栽培しています。

就農のきっかけは、以前、携わっていた福祉関係の仕事で、身体にハンディキャップを持つ人たちと一緒に農作業を体験した事でした。いろいろな場所に出向き、農作業の手伝いをしてきましたが、年間を通して仕事を見つけてるのは難しく、働きの確保するのが大変でした。そんな状況の中、自分が農業を始める事で雇用を増やす事ができるのではないかと考えた横山さんは、白ネギ生産者として就農を決意しました。「除草作業などに追われて大変な時期もありますが、収穫の時にみんなが笑顔で働いているのを見ると嬉しくてやりがいを感じます」と少し照れ臭そうに話す横山さん。「雇用をする以上は作物の質を落とさずに量を確保しなければならぬし、収穫時期の調整も課題になってくる。今後は、共選などを強化し、効率を重視した新しい出荷システムを確立させ、機械の導入も視野に入れながらみんなで協力し合って白ネギの生産を発展させていきたい」と夢を膨らませます。

横山さんにとって農業とは、「日本の生活を支えるために絶対に必要なもの。農業は全て自己責任の厳しい世界だけど、生き方を自分で決めてエネルギーを人生を送れるのは農業のおかげ。あとは、最後までやりきる覚悟で気合いと根性あるのみです」と農業が日々の活力になっている様子が伺えます。そんな活動的な横山さんですが、意外にも普段は家でゆっくりと歴史の本や漫画を読むのが好きだそうです。この動と静のバランスこそが横山さんの元気の秘訣なのではないでしょうか。これからもみんなで力を合わせて頑張ってください。応援しています。

農の



からのメッセージ

浜田さんは兼業農家の頃も含めると農業歴50年以上。らっきょう生産部の生産部長を務めていた経験もあるベテラン農家さんです。

農業をやっていて良かったと思える瞬間は、「自分の思った通りの作物ができた時。手をかけた分その成果が出ると満足です！」と笑顔で話されました。浜田さんは「お客さんを大事にする。ことが一番大切」だと言い、「お客さんがどんなものを食べたいと思っているのか、そのためにどんなことをするべきか、これからの農業はお客さんのことをもっと考えていかないといけないと思います。マーケティングですね！」と農業の将来を真剣に考える浜田さんの思いが伝わってきました。

「人に教わるのもいいけど若い子には自分でこうしたい！という考えをもって努力してほしいね。言いたいことは言うて部会や組合など組織が少しでも良くなるようにして欲しいなあ……！」と若手農業者へ期待のメッセージをいただきました。

最後に浜田さんにとって農業とはお聞きすると、「生活の糧！動いているのが好きだし健康にもいいしね！今後も儲かる農業を目指して働き続けます」と意気込みを話されました！



北栄町 らっきょう生産者
浜田 ^{はまだ} ^{みきお}三喜男さん(73)



女性会

各支部の活動を 紹介します!!

青壮年部



各支部で女性会総会が開かれました!

各支部でそれぞれ総会が開かれ、2019年度の事業報告、2020年度の支部活動計画などを協議し承認されました。2020年度も地域と共に、農業、高齢者福祉、環境問題、女性の地位の向上、生活・文化活動などの取り組みを充実させ活動していきます。

2月25日に開いた女性会東郷支部総会では、(一社)家の光協会の前田希美さんを講師に迎え研修会も行いました。「健康・防災・食と健康」のテーマに沿って、クイズや体操を交えながら楽しい講義となりました。



研修会の様子

2/13 第22回通常総代会

第22回通常総代会を行い、青壮年部盟友、JA関係者ら約30人が参加しました。総会では2019年度活動報告、今年度の計画について協議。今年度は湯梨浜支部の設立や、各支部でのPR動画の作成に取り組み、盟友の輪を広げていくことを確認しました。

また、役員改選も行われ新委員長に就任した琴浦支部の真山一郎さんは「新たなことにも挑戦し、より活発な青壮年部活動を行っていききたい」と意気込みを話しました。



就任あいさつを行う真山委員長

地域情報 発信室

琴浦町 ^{たかつか}高塚 ^{しゅんぞう}俊蔵 さん(71)

今回ご紹介するのは琴浦町の切り絵アーティストの高塚俊蔵さんです。高塚さんは30才の頃、切り絵作家の近藤好幸さんから切り絵の基礎を学びました。その後は独学で風景や人物等を切っては腕を磨き、2008年の秋から自宅アトリエで本格的に創作を始め、現在は月1回切り絵教室を開催されています。高塚さんの切り絵は市町村の図書館・公民館・ギャラリーで開催される個展の他、日本海新聞の「読者の広場」欄でも毎月紙面掲載され見る事ができます。(すでに100作以上掲載されています!)

高塚さんの活躍は切り絵だけには留まりません。60才の定年退職後には「団塊世代の挑戦」としてブログを発信しながら自転車で日本一周。さらに「団塊世代70才の挑戦」として部門別のあるマスターズ陸上の会員になりフルマラソンにも挑戦! 2019年の鳥取マラソンでは年代の部で第3位! 国際ゴールド選手権800mでは金メダルを獲得したほか、日本各地の大会に出場しては好成績を収めています。「私のモットーは『やればできる』。自分で定めた目標達成のためには強い意志とモチベーションを持って努力を重ねる事が大事です。自分の努力次第で成果がでます。陸上のトレーニングも、朝晩時間を作って月に400km近く走る事を目標として



大会の金メダルと盾を持つ高塚さん

います」と語る高塚さん。緻密に計算と段階を重ね、集中力と鍛錬を継続していくのは、切り絵にも陸上競技にも通じるところがあるのかもしれない。この他にもオカリナ教室や講演活動と団塊世代の挑戦はまだまだ続いていくようです。元気と活力に溢れる高塚さんから、いくつになっても夢や目標を持ち挑戦を続けることの大切さを教わった取材となりました。



2/18 大嘗祭供御献穀齋田種子引渡式



引渡式の様子

湯梨浜町で、大嘗祭供御献穀齋田種子引渡式を行いました。

2019年度の献穀奉仕者の藤井勝美さん(湯梨浜町)が、2020年度の献穀奉仕者の森田照男さん(江府町)に「コシヒカリ」の種子と稲穂を無事引き渡しました。

2020年度は、「コシヒカリ」と同様に県オリジナル品種米「星空舞」も森田さんが栽培管理していきます。

各地区で座談会を開きました



座談会の様子

2月7日の東郷地区を皮切りに各地区で座談会を開き、座談会資料をもとに2019年度の事業報告、2020年度の事業方針を説明しました。質疑応答では信用事業や営農事業などに関する活発な意見が出されました。

みなさんから頂いた意見を踏まえて、今後のJA運営や総代会議案に活かしていきます。

栗原隆政組合長は「組合員に寄り添う姿勢を忘れず、対話を繰り返しながら今後も更なる結集、結束を深め取り組んでいく」と話しました。

2/18 全国家の光大会



紹介される栗原組合長

第62回全国家の光大会が福岡市の福岡サンパレスホールで開催されました。

組合員がJA活動に積極的に参加する「アクティブ・メンバーシップ」の確立や国連の持続可能な開発目標(SDGs)を実現する取り組みで、地域に根差し貢献するJAを目指す事などを申し合わせました。

2/4 年金友の会会長会



挨拶をする鈴木会長

JA各支所の年金友の会会長と金融課長が出席し、2019年度の活動実績の報告や2020年度の活動計画の協議を行いました。

2020年度も誕生記念品の配布や貯金金利の優遇、年金相談会等による会員拡大を図るほか、本所・各支所でのグラウンド・ゴルフ大会等の開催や親睦旅行等による会員相互の交流を深めていくことを確認しました。

農業を取り巻くリスクに備えていますか？

ご自身が
万一の場合

自動車事故

顧客情報
漏洩

農作業中の
ケガ

農業用施設
の損壊

農産物の
回収

第三者への
賠償

就農不能

JA共済グループが「いざ」という時への
確かな安心をお届けします

農業リスク診断展開中!!

詳しくはお近くのJA各支所へお問い合わせください。JA共済

1/31 営農指導事業成果発表大会～後藤慎司さん鳥取県代表に決定！～

J A 鳥取中央は、2019年度営農指導事業成果発表大会を開きました。

営農指導事業の機能・体制を構築させるため指導員のレベルアップと機能強化を図り、農家所得の向上につなげることを目的としています。各営農センターの指導員4人がそれぞれ発表し、2人が代表に選ばれました。

1人目は、北栄営農センターの前田智貴営農指導員。花卉「ストック」の栽培でLED電照を導入し開花調節、草丈伸長をうながし、単価の取れる時期の出荷率を上げることで農家の所得向上につなげたこと

を発表しました。

2人目は、琴浦営農センターの後藤慎司営農指導員。新たに排水対策指導会の実施や、防除暦の作成、栽培や防除、販売など、多方面の情報を生産者に積極的に発信し、J Aへの信頼感の獲得、生産者の栽培意欲を掻き立てることで面積の維持、拡大を図ったことを発表しました。

2人は2月21日に行われた鳥取県大会にも出場し、見事後藤さんが最優秀賞を受賞！鳥取県代表として中国地区JA営農指導員交流集会で発表します。



堂々と発表を行う前田指導員(左)と後藤指導員(右)

1/28 赤碕エリザベスメロン生産部総会



総会の様子

赤碕エリザベスメロン生産部は、琴浦町で総会を開き、生産者、行政、J A関係者ら17人が参加しました。

2019年度の出荷数量は、16.4 t、販売金額は約1,004万円、1kgあたりの平均単価は610円で昨年を上回る結果となりました。総会では、収量・品質の向上・安定化、巡回指導の徹底、進物・直販による所得の確保などの基本方針を確認。2020年度は、1.4haで栽培、出荷数量16.8 t、販売金額1,008万円を目指します。

同部の倉長邦彦部長は「今年度も県内外問わず、たくさんの人に甘くて爽やかな高品質メロンを楽しんでいただけるよう頑張りたい」と話しました。

2/4 北条ぶどう生産部総会



総会の様子

三朝町で、2019年度北条支所ぶどう生産部通常総会を開きました。生産者、行政、J A関係者ら約70人が参加。2019年度事業報告と収支決算書、2020年度事業計画などを協議し、承認されました。

2019年度の実績は、出荷量17万5,308kg、販売金額1億7,545万円、平均単価は1kg当たり1,001円で前年の945円を大きく上回る結果となり、2020年度は、16万8,400kg、1億7,222万円の出荷、販売を目指します。

同部の岡本重光生産部長は「安心・安全は当たり前。良いものを作り続けて消費者からの更なる信頼を獲得したい」と話しました。



2/13

ポーセラーツ作り ～女性大学ルミナール～



でき上がった作品とともに記念撮影

女性大学ルミナールは第5回カリキュラムを開き、受講生11人がポーセラーツインストラクターの小椋由美子さんを講師にポーセラーツ作りに挑戦しました。ポーセラーツは、真っ白な陶器に好きな色や模様の転写紙を貼り、オリジナルテーブルウェアを簡単に作ることが出来るハンドクラフト。

受講生は好きな皿やマグカップを選び、花柄やイラストの転写紙を切り貼りして世界に一つだけの作品に仕上げました。

受講生は「初めての体験。楽しくオリジナルのものが作れて良かった。でき上がったら家で使いたい」と話していました。

2/15・16

新春ドリームフェア ～JA中央サービス～



商品について相談する来場者(左)

(株)JA中央サービスは15日と16日の2日間、北栄町で2020年新春ドリームフェアを開催しました。

農機具、ガス器具、自動車の合同展示会で、会場には数多くの商品が並び、大勢の来場者でにぎわいました。

来場者は、スタッフから説明を聞きながら希望の商品を買い求めていました。

同社の中田洋一社長は「新しい農機具で良い農作物を作っていただけるよう、元気よく笑顔で真心込めて接客をしてほしい」と関係者に呼びかけました。

2/23

原木しいたけ植菌体験学習会



植菌の様子

農事組合法人 四王寺宮農組合が開催し、四王寺地区の小学生とその保護者を中心に約60人が参加しました。

日本きのこセンター研究普及局鳥取事務所の西沢則之所長代理を迎え、栽培についての説明の後、ドリルを使って穴を開けた原木80本に親子でしいたけの形成菌を植菌しました。

これは、四王寺地区の森林資源の利活用と次世代の子どもたちへの森林環境教育の実践を目的に開催されており、今年で5回目になります。

参加した子どもたちは、早ければ今年の秋ごろにできる収穫を楽しみにしていました。

各直売所で友の会総会が行われました!



表彰されたみなさんおめでとうございます!

2月20日のハワイ夢マート友の会総会を皮切りに5会場各直売所の友の会総会が行われ、2019年度の販売実績や2020年度の事業計画などについて報告しました。

21日に行われた満菜館友の会総会では、約200人の会員が出席しました。生産者イベントを開催し、地元農産物の販売促進を図ることや、収穫体験など交流事業、食育活動を展開することなどを全員で確認しました。

総会では、開店10周年を記念して表彰も行い、浅井高子さん(倉吉市)、天野勝美さん(倉吉市)、岡田亘さん(倉吉市)、片山克子さん(倉吉市)、南諄子さん(三朝町)、山崎彰子さん(倉吉市)に、感謝状と記念品が贈られました。

2/11 JA鳥取中央女性大会・家の光大会



村岡さんの体験発表

JA鳥取中央女性会とJA鳥取中央はハワイアロハホールで第22回女性大会・家の光大会を開きました。女性会会員や関係者ら約500人が参加し、情勢報告では会員一人一枚雑巾運動や米一握り運動の贈呈を報告しました。今年度は女性会組織活動のSDGsとの強い結びつきの認識を深め、食と農を基軸とする活動で地域の活性化に取り組みます。

体験発表では大栄支部の村岡めぐみさんが「新たなる旅路へのガイドブック」と題してフレッシュミズの活動を通して地域や仲間との絆を強めた体験を紹介しました。またアトラクションとして関金、三朝、東郷の女性会員が踊りで大会を盛り上げました。

午後からは心の元気講演家の石川達之さんが「笑って伸ばそう健康寿命」の演題で講演し、「笑う」「話す」「感謝する」ことの大切さを方言の歌で披露し、会場は大きな笑いに包まれました。



石川さんの講演



三朝支部



東郷支部



関金支部

2/27 いきいき農業塾



田中さんによる講義の様子

JA本所にて行われ、塾生16人が参加しました。

東伯農業改良普及所より田中篤普及主幹を迎え、「直売所で注目される新しい野菜の品種・品目について」と題した講義を行いました。塾生たちは、珍しい農産物の紹介やユニークにデザインされたポップや商品ラベルなどに関心を高めていました。

次に、下中雅仁営農事業アドバイザーが塾生の実習の場であるほ場の状況を説明。次回のジャガイモの植え付けに向けた土壌改良などについて説明をし、2月期の農業塾は終了しました。

2/14 梨作り感謝会～東郷小学校3年生～



なしづくりカルタで学習した成果を発表

湯梨浜町立東郷小学校3年生44人は湯梨浜町で梨作り感謝祭を開きました。

同町にある梨「二十世紀」の古木「百年樹」の園内の梨で交配、袋掛け、収穫体験から学んだ1年間の学習成果を発表しました。

「百年樹」の管理と梨作りを指導する生産者グループ「百年会」のメンバーと、普及指導員、JA職員らを招待し、梨作りでの学びや感謝の気持ちをカルタにした「なしづくりカルタ」を披露。

その他にも、梨に関する言葉や梨の品種などを話し合いながらビンゴを作成し交流を深めました。

農産部

2/7 第13回椎茸生産部通常総会

椎茸生産部が三朝町で第13回通常総会を行い、生産者、行政、JA関係者ら約20人が参加しました。

生産量の増大と生産者の確保対策、栽培技術の向上、消費拡大活動への積極的な参加・協力などの基本方針を確認しました。

2019年度は、消費拡大活動としてイベントでの試食宣伝販売会を2回、県外の学生や直売所の消費者らと植菌体験を2回開催し、椎茸のPRを行いました。

役員改選では、新部長に那須輝男さんが就任。那須部長は、「ブランド名にふさわしい高品質な椎茸作りに努め、更なるレベルアップを図りたい」と意気込みを話しました。



総会の様子

湯梨浜営農センター

2/25 東郷果実部総会

東郷果実部は第17回総会を開き、2020年度は、農家一人ひとりが「大玉、高糖度、高品質、多収量」と4拍子揃った梨作りの実現に向けて取り組むことを申し合わせました。

2019年度は全品種合わせて出荷量22万6,187箱(1箱=10kg)、販売は10億5,278万3,442円となりました。

主力の「二十世紀」は、糖度、食味ともに良い状態で出荷でき、16万1,319箱、7億5,124万6,131円となりました。

2020年度は、全品種合わせ21万4,675箱、10億761万7,500円を目標に取り組んでいきます。

総会では、湯梨浜町うまい梨づくり共進会表彰と東郷梨生産向上運動の表彰が行われました。



うまい梨づくり共進会表彰の方々 東郷梨生産向上運動表彰の方々

琴浦営農センター

2/4 琴浦ブロッコリー念願の4億円達成!

琴浦ブロッコリー生産部は設立以来初となる、大台の目標金額4億円を突破しました! 設立時は80人が58haで栽培していましたが、2019年度は72人で140haを栽培するなど著しく面積を伸ばしてきました。県の補助事業を活用し、製氷機や、各農家への予冷庫の導入など、機械化を進め品質の維持と作業効率を上げることで、農家一人ひとりの面積拡大につなげてきました。出荷量は19万6,510箱(1箱=6kg)で、販売金額は4億1,811万2,000円とどちらも、設立以来の最高記録となりました。新部長には寺岡昌一さんが就任。新役員の半数が30代~40代と勢いのある生産者で構成され、寺岡部長は、「若い力で積極的に市場や消費者にPRしていき、今年度の目標達成に向かって取り組んでいきたい」と意気込みを話しました。



4億円達成くす玉割りを行いました!

北栄営農センター

2/12 大栄西瓜15年ぶり20億円達成!

大栄西瓜組合協議会の2019年度の販売が20億1,347万円と、同協議会として15年ぶりの20億円を達成しました。出荷量は59万2,869箱(1箱=約15.5kg)。2019年度は1箱あたりの平均単価3,396円、10aあたりの販売金額119万円と過去最高を記録。消費キャンペーンを県内外で37店舗実施し、大栄西瓜ブランドを多くの人にPRしました。今年度も「産地の維持はみんなの意識 日本一の産地に向けて」をスローガンに、216戸の生産者が169haで55万箱の出荷を目指して取り組んでいきます。2019年度成績優秀者表彰として、米田尚太さん、中村忠志さん、梅津一さん(そ菜)、「顔の見える産地づくり表彰」として河本幸俊さん、大西博さんが表彰されました。



表彰を受ける米田さん

1/28

大栄きゅうり部会設立以来 最高の販売金額を記録!



感謝状を贈呈する杉川武士部会長(左)

大栄きゅうり部会が栽培する2019年産のきゅうりが、部会設立以来最高の出荷量2万7,043箱(1箱=5kg)、販売金額4,559万5,000円を記録しました。

2019年は13戸の農家が1.6haで栽培し、県内を中心に8月中旬から12月上旬まで出荷。定植期の好天と、出荷期間中の大きな天候の変化もなく順調な販売となりました。

全体会議の中で、大栄ブランドの確立に貢献した2社の県内市場に感謝状を贈りました。

2020年度は14戸の農家で、2万4,000箱、4,000万円を目標に取り組んでいきます。

2/27

湯梨浜町果樹研究協議会研究発表会



左から唐崎さん、土海政信会長、土井さん。おめでとうございます!

はじめに第46回梨品評会の表彰が行われ、二十世紀梨の部、新甘泉の部それぞれの入賞者に表彰状が贈られました。

研究発表では、土井さんが「剪定枝を無煙炭化器で炭作り」、佐々木邦雄さんが「純アセトンを用いた花粉抽出方法」、唐崎大義さんが「なつひめの環状剥皮による樹勢への影響」と題して研究結果を発表しました。審査の結果、土井さんが最優秀賞、佐々木さんが優秀賞、唐崎さんが優良賞を受賞。鳥取県園芸試験場環境研究室の古井佑樹研究員が「年間を通じた害虫防除のポイント」と題した講演も行いました。

2/18

販売金額3億円を目指す ～琴浦ミニトマト生産部～



左から三谷孝道さん、三谷康二郎さん、高塚憲雄生産部長、山住隆規さん

琴浦ミニトマト生産部は総会を開き、生産者、行政、市場担当者、JA関係者ら約80人が参加しました。

2019年度は367.8tを出荷し、販売金額2億5,242万円となりました。2020年度も、県特別栽培農産物の認証を受け、琴浦ブランドの強化と各生産者の栽培技術の向上による収量の増大を目指し、収量420t、販売金額3億円を目標に取り組みます。

総会では優秀農家表彰もあり、三谷孝道さん、三谷康二郎さん、山住隆規さんが優秀賞を受賞しました。

2/14

販売金額1億5千万円目指す ～琴浦白葱生産部～



新役員の皆さん

琴浦白葱生産部は総会を行い、2019年度の実績、2020年度の目標について協議しました。

2019年度の実績は、出荷量13万6,752箱(1箱=3kg)、販売1億4,928万8,000円を記録。定植は順調に行われたものの、台風や病害虫の発生が見られ夏場の栽培に苦労しましたが、11月中旬以降は出荷規格の2L比率と全体の出荷数量も伸び、計画対比98%とほぼ計画通りの出荷となりました。

2020年度は定期的な指導巡回で品質の向上を図ることや、春葱、夏葱、秋冬葱の長期安定出荷の確立を図ることなど6つの方針をかけた、出荷12万3,000箱、販売金額1億5,375万円を目指します。

2/18 らっきょう4年連続6億円突破!



表彰を受ける山下さん

らっきょう生産部は2019年度の出荷量が3年ぶりに1,000 tを超え、4年連続で販売金額が6億円を突破しました。

2019年産は、暖冬の影響もあり、玉肥大も順調にすすみ高品質ならっきょうを出荷できました。県内外で漬け方講習会10会場、試食宣伝会37店舗で実施し、洗いらっきょう、根付きらっきょう合わせて1,012 t、6億1,354万9,000円の出荷、販売となりました。

成績優秀者として洗いらっきょうの部で山下博之さん、濱川實夫さん、根付きらっきょうの部で山部一美さん、澤田美智雄さん、遠藤忠充さんに表彰状が贈られました。

2/6 共済推進大会



決意表明をする各支所長

J A鳥取中央本所で共済推進大会を開きました。はじめにアプローチ代表取締役の河内理恵さんを講師に迎え、「職場を活性化! 組織力アップのためのコミュニケーション」と題した講演を行いました。河内さんは、「相手を良く観察し、相手が受け取りやすい言葉、態度を発信すること。人は理ではなく情で動くので、信頼関係・暖かい関係を作ることが大事である」と参加者に呼びかけました。

情勢報告や体験発表を行い、最後に各支所長が決意表明とがんばろう三唱で、役職員が一丸となって取り組んでいくことを確認しました。

2/19 長芋生産部総会



総会の様子

長芋生産部が総会を行い、2018年産の長芋と「ねばりっこ」合わせて出荷量9万9,967箱(1箱=10kg)、3億7,264万3,000円の販売となったことを報告しました。同部は、昨年立ち上げた「ねばりっこプロジェクトチーム」で芋の腐れ問題解決に向けて、栽培管理、集荷場の管理体制、販売の3チームに分かれ早期解決に向かって取り組んでいます。

2019年産は「腐れの解明と対策」「販売単価の向上」を重点取り組み事項とし、収量の確保、生産意欲向上、栽培・増殖技術の確立を図っていくことを全体で確認。2019年産は長芋、「ねばりっこ」合わせて109戸の農家が36haで1,083 tの出荷を目標に取り組んでいきます。

2/27 琴浦梨 過去最高の販売単価



表彰された方々と岩本生産部長(中央)

琴浦梨生産部は2019年度の梨全品種を合わせた1kgあたりの平均単価が460円と、過去最高を記録しました。7月中旬から下旬の肥大最盛期に好天と適度な降雨があったことから玉太りは良好で、昨年よりも1階級上の3L中心の出荷となりました。2019年度は155戸の農家が75haで栽培し、全品種合わせて1,880 tの出荷、約8億6,793万円の販売で終了。2020年度は1,892t、8億7,000万円の販売を目指し取り組んでいきます。総会では、栽培成績も良く安定した品質で梨栽培に取り組んだとして、「二十世紀の部」熊崎隆さん、「ハウス二十世紀の部」中本博義さん、「新甘泉の部」盛山悟さん、「秋甘泉の部」川崎康晴さん、「王秋の部」谷口仁志さんと「地区の部」で上法万地区に表彰状を贈りました。

スイカ苗の供給開始!



苗の生育を確かめる岸本部長(中央)と前田営農指導員(左)磯江センター長(右)

スイカの苗の供給が各地区で始まりました。「とまり美人すいか」は2月21日から、「琴浦のきらり」は2月24日、黒皮スイカの「琴浦がぶりこ」と「大栄西瓜」、「倉吉西瓜」は、3月1日から供給が始まり、同日から生産者は定植作業に取り掛かっています。倉吉市にある総合育苗センターでは、今年度、スイカ苗28万1,000本を生産します。今年は外部委託本数を約9万本発注。今年度から、接ぎ木苗の段階で同センターが買い取り、その後の管理を同センターで行うことで管内の土地と気候にあった苗を生産者に届けていきます。倉吉西瓜生産部会の岸本健志部会長は「スイカの出来が農家の経営の流れを作る。今年も安心、安全でおいしいスイカを消費者に届けていきたい」と話しました。

2/26 大栄小松菜生産部2年連続1億円突破



総会の様子

大栄小松菜生産部の2019年度販売金額が2年連続で1億円を突破しました。小松菜は主要特産物のスイカの後作として主に作付けされています。スイカの栽培面積拡大を目的に、鳥取型低コストハウスの導入を進めたことで、小松菜も生産部設立時の7.8haから2019年度は14haを74戸で栽培しました。

2019年度は8、9月の猛暑と暖冬の影響で水管理に苦労しましたが、生産者のこまめなかん水作業、栽培管理の徹底により生育は良好。出荷量6万3,918ケース(1ケース5kg)、1億621万7,000円となりました。

2020年度は6万5,000ケース、1億3,000万円の出荷、販売を目指します。

2/25・26

HACCPの考え方を 取り入れた衛生管理研修会



研修会の様子

倉吉市でHACCPの考え方を取り入れた衛生管理研修会を開きました。

研修会は、食品衛生法改正で2021年6月から施行される危害分析重要管理点(HACCP)制度導入に伴い、JAの加工施設を利用する女性会会員を中心とした約400人を対象に開きました。

研修会では公益社団法人日本食品衛生協会の太田敬司さんが講師となり、HACCP導入の背景や衛生管理のポイント、衛生管理計画の作成、異物の混入の防止対策などを資料に基づいて説明。参加者は安全安心でおいしいものを加工所で作るために食の安全対策について理解を深めました。

1/31

新鮮で安全な学校給食を ～倉吉市学校給食食材供給部会～



給食を堪能する会員ら

倉吉市学校給食食材供給部会は総会を開き、会員、行政、JA関係者ら約40人が参加しました。

同部会は学校給食へ新鮮な地元食材の供給や、地元の小学生を対象にジャガイモやサトイモの収穫体験と収穫した野菜を使ったカレーライス作りなどの食農教育も行っています。

2019年度は、白ネギやキャベツなど計18品、36.16tを学校に供給しました。今後も新鮮で安心・安全な顔の見える地元食材を供給していくことを参加者全員で確認しました。

その後、給食センターの高間直樹センター長による異物混入についての研修を行い、研修後は参加者全員で給食を試食して交流も深めました。

2/7

琴浦町「安田ふれあい食堂」に 農畜産物引換券



野間田会長(左)に農畜産物引換券を手渡す栗原組会長

J A鳥取中央では、J A自己改革の一環として、管内の子ども食堂に定期的に旬の特産物や、農畜産物引換券を提供しています。この日は、琴浦町の安田地区振興協議会が運営する「安田ふれあい食堂」の野間節夫会長に農畜産物引換券を手渡しました。

2019年度は7つの子ども食堂にのべ49回の食材・引換券を提供。J A女性会からもお米や雑巾などを寄付しました。

また、北栄町の「ほくほく食堂」には、Aコープ店舗から精肉を年3回提供しました。

「野花梅」の花が今年も綺麗に咲きました！



同部梅生産部の長谷川昌宏生産部長の梅園にて

鳥取県湯梨浜町特産の梅「野花梅」の花が2月14日から咲き始め、2月下旬頃に見ごろを迎えました。今年は東郷果実部が1989年からとっているデータ上で最も早い満開日(2月25日)となりました。「野花梅」は、結実が安定し大玉で肉厚なのが特徴。皮が薄いことから梅酒にも適しており、梅干し、梅ジャム、梅ジュースなど様々な用途で楽しむことができます。同部では野花地区を中心に25戸が5haで栽培し、5月下旬から6月上旬ごろに収穫を予定。県内市場を中心に「野花梅」を使ったゼリーや甘酒の詰め合わせを販売している同町商工会や梅酒を造る梅津酒造にも出荷を予定しています。

2/12・13

三朝支所健康ゴルフ三昧の旅



記念に一枚！



優勝者の河崎さん

三朝支所主催の「健康ゴルフ三昧の旅」が兵庫県にあるABCゴルフ倶楽部と花屋敷ゴルフ倶楽部で2日間行われ、J A事業をご利用いただいている地域の方25人が参加しました。

健康増進と親睦を深めることを目的に、今回で10回目の開催となり、参加者らは会話を楽しみながら気持ちのいい汗を流していました。

結果は以下の通りです。おめでとうございます！

優勝 河崎雄二さん

準優勝 津村信博さん

3位 石田仁樹さん

(2日間の総合順位)

2/19

奈良漬小玉西瓜部会総会



総会の様子

奈良漬小玉西瓜部会は19日、湯梨浜町で総会を開き、生産者、行政、J A関係者ら17人が参加しました。

総会で2019年度は16戸の農家が約1.5haで、特産「とまり漬け」の原料となる加工用スイカ「源五兵衛西瓜」を12万8,852玉出荷し、販売金額が412万円となりました。2020年度は出荷量18万9,000玉、販売金額約588万円を目指し、栽培面の改善、収穫作業の強化や、はさみ入れなど収穫管理を徹底し、最後まで出荷することを確認しました。同部会の山本雅部会長は「伝統ある特産野菜を継承していけるよう一丸となって取り組みたい」と話しました。

理事会報告

- 提案事項は原案どおり承認されました。
第12回 (令和2年1月30日(木)開催)
 1) 令和元年度第3-四半期決算監事監査指摘事項に対する措置方針について
 2) 職員の懲戒について
 3) 参事の解任について
 4) 機構改革について
 5) 職制規程の一部変更について
 6) 令和2年度JA鳥取中央コンプライアンス・プログラムの制定について
 7) 出資金の減資について
 8) 固定資産の取得並びに資金の借入について
 9) 令和2年度手数料率の設定について
 10) 令和2年度水稲苗価格について
 11) 哺育・育成所の業務移管について
 12) 借入最高限度額について
 13) 信用の供与等最高限度額について
 14) 貸出利率の最高限度額について
 15) 令和2年度余裕金運用方針について
 16) 資金の貸出(金融機関等資金)について
 17) 利益相反契約にかかる承認について
 18) 令和2年度内部監査方針および計画書
 19) 令和2年度座談会資料について
 20) その他

人事異動

- 【退職】** (令和2年1月31日付)
 審査役 藤原 治
 総務部付
 一般職 井上 結衣
 大栄支所金融課
- 【退職】** (令和2年2月21日付)
 一般職 中林 晴菜
 生活部葬祭業務課
- 【異動】** (令和2年2月1日付)
 審査役 角 裕貴
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部本所次長兼Aコープ事業課本所課長
- 調査役 杉谷 大成
 新部署: 生活部葬祭管理課課長待遇旧部署: 店舗事業部Aコープ事業課課長待遇
- 調査役 寺田 紀己男
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部Aコープ事業課本所課代理
- 審査役 椿 雅詔
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部Aコープせきがね店店長
- 審査役 大下 啓一
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部Aコープ下北条店店長
- 審査役 山崎 文弘
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部トピア店店長
- 調査役 山口 弘良
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部Aコープ赤碓店店長
- 調査役 村田 早苗
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部Aコープ北条店店長代理
- 一般職 穂山 栄幸
 新部署: 企画管理部企画管理課係長旧部署: 店舗事業部Aコープ事業課係長
- 一般職 西本 真喜子
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部Aコープ事業課
- 一般職 井上 夏美
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部トピア店係長
- 一般職 福嶋 真
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部Aコープせきがね店係長
- 一般職 梅谷 美津子
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部Aコープ赤碓主任
- 一般職 岩本 彰
 新部署: 総務部付(Aコープ西日本)旧部署: 店舗事業部Aコープせきがね店
- 一般職 世瀬 瞳
 新部署: 大栄支所栄出張所旧部署: 北条支所金融課

集めて当てよう! わくわく よりぞうポイント キャンペーン

キャンペーン期間中、対象商品のお取引でポイントをゲット!
集めたポイントで応募すると、抽選で豪華賞品をプレゼントいたします!

対象商品 10 ポイント	給与振込 年金受取 JAカード(単体) キャッシュカード 住宅ローン 生活ローン カードローン インターネットバンキング 共済掛金	5 ポイント
<small>※新規契約・既存取引でポイント付与</small>		

第1期 【応募期間】 2020/4/1*~6/30*	第2期 【応募期間】 2020/7/1*~9/30*	第3期 【応募期間】 2020/10/1*~12/30*
特賞 関西地区有名テーマパーク パスポート(1泊2日ペア宿泊券付) …… 3名様 A賞 布団乾燥機(KFKC3WP) …… 10名様	特賞 ダイソン掃除機(SV11FF2) …… 3名様 A賞 鳥取県産黒毛和牛「オレイン55」1kg …… 10名様 ※写真はイメージです	特賞 1泊2日ペア温泉宿泊券 …… 3名様 A賞 ワイヤレスヤホン(JBLFREEXWHBT) …… 10名様
特賞 電気圧力鍋(KSC3501R) …… 3名様 B賞 防災セット(YBG-30R) …… 10名様	特賞 ペア食事付日帰り温泉入浴券 …… 3名様 B賞 マッサージ器(MCR2216T) …… 10名様	特賞 オムロン血圧計(HEM-7313) …… 3名様 B賞 令和2年産「星空舞」5kg×2袋 …… 10名様

※写真はイメージです

よりぞう賞 Aコース

県産農産物2,000円相当 …… 40名様×3期

Bコース

県産農産物1,000円相当 …… 40名様×3期

「JAでのお取引は、初めて」というお客様もお気軽にとぞう。

応募方法

- 対象商品のお取引で、応募台紙の該当箇所にスタンプまたはシールを貼付します。
- 応募は1期間中、1人につき1枚まで。Aコース、Bコースのいずれか1コース。
- 当選するまでは各期応募可能。抽選に外れた場合でも、以降の抽選権は継続されます。

抽選申込みしていただいた方にはもれなく、全員に参加賞をプレゼント!

多くの皆様に幅広いサービスをご提供しています。

※商品の詳しい内容については、説明書を店頭にご用意しております。
 ※詳しくはJA窓口にてお問い合わせください。

●お問い合わせは、お近くのJAへ

JA鳥取中央 ● **JAバンク鳥取**

JA中央サービスからのお知らせ

車検は予約がお得!

車検をご予約いただくと、
 当社給油所をご利用頂ける
給油割引券進呈

3ヶ月間
10円/L引き!

※車検された車両への給油に限りご利用できます。
 また、法人所有の車両・営業車両は対象外とさせていただきます。

車検割引きサービス
 ・代車が不要な方
 ・車両を持ち込み・引取頂ける方
 ・車検後の洗車が不要の方

以上をご用命頂くと
それぞれ車検代金より
1,000円(税別)引き!

※尚、代車が必要なお客様は車種・台数に制限がございますので、事前にご相談ください。

期間中
何回給油してもO.K.

ご利用は近隣の自動車センター・自動車事業所まで

中央自動車センター TEL 28-3221 三朝自動車事業所 TEL 43-1831 湯梨浜自動車センター TEL 32-0713
 湯梨浜自動車センター(田後) TEL 27-0866 北条自動車センター TEL 49-1169 琴浦自動車センター TEL 53-1623
 赤碓自動車事業所 TEL 55-1411

<p>JA鳥取中央 葬祭センター</p> <p>TEL (0858) 47-0983 FAX (0858) 47-0981</p> <p>0120-80-9831 通話料無料 24時間受付</p>	<p>メモリアルホール 報恩舎</p> <p>〒682-0017 倉吉市清谷町2丁目143 TEL (0858) 47-4300 FAX (0858) 47-4320</p>	<p>メモリアルホール 福本</p> <p>〒682-0604 倉吉市福本220-1 TEL (0858) 48-2100 FAX (0858) 48-2101</p>	<p>メモリアルホール あじさい</p> <p>〒689-2303 琴浦町徳方282-13 TEL (0858) 53-1184 FAX (0858) 52-3943</p>
---	--	---	--

直売所探検隊



倉吉市西倉吉町21-5
TEL/48-2525 定休日/なし
営業時間/9:00~18:00



直売所は私の元気の源です!

むらおかときこ
村岡時子さん(65歳) 北栄町下種

今回ご紹介するのは、直売所に小玉西瓜や大根に白菜などの青果物を出荷している村岡時子さんです。村岡さんは西瓜の生産を中心として30年になるベテラン農家さん。

元々、西瓜後の農閑期に何かできないかと考えていた時に、直売所の出荷物を見たのがきっかけで、7、8年前から直売所への出荷を始められました。生産では少しでも農薬を使わないようにして、新鮮で美味しい青果物の出荷を心掛けているそうです。農業の魅力について何うと「自分が出荷したいものを、自分のできる面積で、自分の段取りで作れること。人に言われて作るのではない点ですね」息子さんも本格的に西瓜栽培への取り組みを始め、経営移譲も行って自分の時間に余裕が生まれた時子さん。しかし、家にいると畑と家族の会話しかなく出る場所も限られていたそうです。

そんな時子さんにとって直売所は、出荷の際に色々な人とふれあい、気さくに会話のできる楽しい場所の一つなんだとか。「この間、30年前に会社に勤めていたころの同僚から突然に電話があってビックリしました。聞くと偶然直売所から私名義の大根を購入したそうです。あれ?! もしや?」と思い懐かしさから探してまで連絡をいただいたようで、今度久しぶりに会うんですよ」とにこやかに笑う時子さん。こういった出会いがあるのもとても嬉しい事ですね。おすすめの食べ方は「満菜館にある東伯ミートさんでスペアリブとタレを購入して、大根と一緒に圧力鍋で煮込んだらとっても美味しく♡今や我が家の定番メニューです」今後について何うと、露地栽培できる青果物を作って出荷してみたいとの事です。「私は直売所の雰囲気大好き! 従業員さんも出荷の際に重たい物の運搬を手伝ってくださいます。直売所は私にとって活性化・元気の源です!」と、うれしいお言葉をいただきました。これからも元気に頑張ってください! 応援しています!

ここで満菜館の正木店長からひとこと「色々な品種の旬のイチゴがたくさん出荷されています。大人気の「焼き芋」もスタッフが毎日頑張って焼いています! 花も野菜もたくさん取り揃えて皆様のご来店をお待ちしています!」



新鮮野菜と綺麗な花がいっぱい



旬のあま〜いイチゴです

直売所情報

JA直売所

お彼岸セール開催中



直売所では彼岸の売出しを開催しております。

お供え物などお買い求めの際には、ぜひ近くの直売所へお立ち寄りください。



旬鮮プラザ満菜館	48-2525	旬鮮プラザよってみたい菜	47-4197
楽市楽座	43-2286	ハワイ夢マート	35-3535
あぐりポート琴浦	55-6336	あぐりポート琴浦2号店	55-7700

あなたもチャレンジ! 家庭菜園 ジャガイモ

ジャガイモは早生で食味がよく、育てやすい男爵がもっとも一般的ですが、早生種のワセシロ、メークイン、晩生種の農林一号などが春作に適しています。秋まきではうんぜん、たちばな、でじまなどがあります。最近では赤丸、レッドムーンといった皮が赤い品種も出回っています。南アメリカが原産で、生育適温は15～24℃。17℃前後で塊茎(イモ)を形成し、30℃以上になると塊茎が形成されなくなります。霜に弱く、早植えて晩霜にあうと地上部が枯れてしまいます。

畑の準備

苦土石灰150g/m²

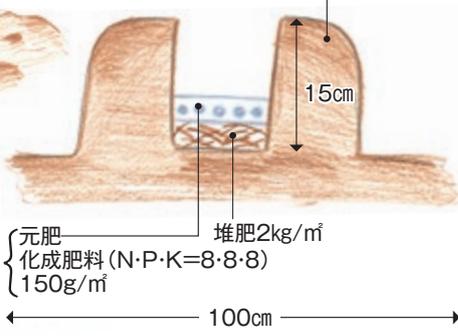


冬の間に深めに荒起こしをしてpH調節をしておく

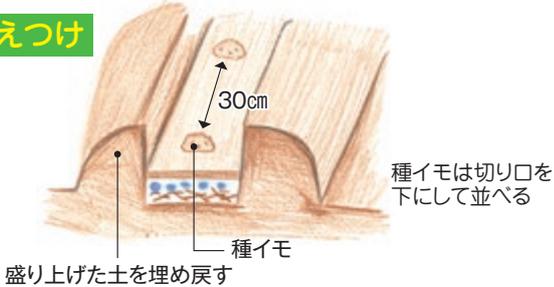
土を埋め戻す

畝づくり

ジャガイモは生育期間が短いので、元肥を主体に施す。畝の中央部に深さ15cmの溝をつけ、元肥を施した後、5cm土を埋め戻す

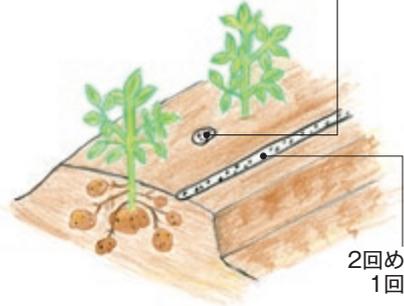


植えつけ



追肥・土寄せ

1回目追肥
化成肥料(N・P・K=8・8・8)
50～60g/m²



間引きが終わったころ、株元に1回目の追肥をする。その15日後に2回目の追肥と土寄せをする。土寄せ不足だと、イモが露出して緑化してしまう

収穫

茎葉が黄色くなってきたころ、晴れた日に収穫する



JAからのお知らせ

JA中央サービス
からのお知らせ

3,000円以上お買い上げのレシートでご応募ください!!

2020春 中国地区JA-SS

おいしいもん!

2020年 4/1(水)～30(水)

5/4(月)まで

抽選で 総計 500名様に 当たる!!

JAグループおすすめ 美味しいものが当たる!!

JA鳥取中央版 第5回『就農相談会』

毎月第2水曜日開催

日時: 令和2年4月8日(水) 13:30～16:00
JA鳥取中央本所 3階会議室(倉吉市越殿町1409)
農業に興味ある方、就農を考えている方、お気軽にお越しください!
※相談会の参加には開催日から10日前までに事前申し込みが必要です。
JAのHP、各支所、各営農センター、直売所、市役所、役場等に申込用紙があります。

表紙の写真説明



今回の表紙は原地区の男性でボランティア活動などに取り組む「達人クラブ」と中学生までのお子さんを持つお父さんの集まり「親父(おやじ)の会」の皆さんです! 湯梨浜町食生活改善推進委員さん指導のもと、合同での『男の料理教室』は初めての取り組みだそうです。総勢26人で、これぞ男の料理!!!! 一品目!!「豚の角煮」二品目!!「エビチリ」三品目!!は、体に優しい「ほうれん草とツナのサラダ」をグループに分かれて調理。その後はもちろん料理を囲みながらの一杯♡ 地域住民の一体感と、なにより終始笑顔が絶えない皆さんの姿に人と人とのつながりの大切さを実感した一枚となりました♪

読者からの お便り紹介

今月もたくさんのお便りありがとうございました。

今月のお題

昔は良かったなあ～
と思う事

を教えてください。

■子供の頃から絵を書くことが好きでした。休みの宿題で雪景色を書いていき、ほめてもらったことが忘れることが出来ません。昔のように沢山雪が降ってほしいです。
(ちいちゃんですさん)

■今、昔を考えると、昔は八百屋さん、魚屋さん、お豆腐屋さんが有り、買物を通じて人との交流を深める事が多かった。心が豊かだったこと。
(為平さん)

■今のようにおいしく見ばえのよい食べ物はありませんでしたが、何も無い時代、東郷池や川で取った魚の煮付け、大風の翌日拾った椎の実等は空腹を満たす大のごちそうでした。
(ウルウルさん)

■暗くなるまで思い切り外で遊べたこと。今の子どもは遊べないよね。薄暗くなるとあちこちの家からお鍋の当たる音や包丁で何かを切る音とか聞こえてきて美味しそうないとかした気がして自分も急いで家に帰る。今は少なくなつたような気がします。
(カメラさん)

■道端の立ち話し。車社会のせいかな？見かけなく

なりましたね。近所の方でも顔を合わせる事も減りました。
(宮本さん)

■全速力で走れた昔は良かったなあ…。今はヨタヨタ早足で歩くのが精一杯…。トホホ
(丈くんのババさんさん)

■個人情報を変な受け取り方をしている、電車の中で大勢の子供たちがどこかへ移動中に、「どこへ行くの？」と聞くと、「個人情報で言えません」だつて。傍に先生もいたんだよね。
(ホチさん)

■スマホなど無かつた時代がすきかも。
(ダイアナさん)

■昔は、犬や猫が今よりもつと飼いやすかつたよ。うな…。犬や猫が好きならばかりではないのは十分承知しているんですが…。
(ゆんゆんさん)

【次号のお題】

「苦勞はしたけど、良かったなあ」と思える事」

「苦勞はしたけど、良かったなあ」と思える事」

という事で、次号のお題は「苦勞はしたけど、良かったなあ」と思える事」を大募集です。学生の頃、友人に誘われてフルマラソンに参加しました。4時間以上かかつてのゴールでしたが、最高の気分でした。翌日は、全身が痛くて大変でしたが参加して良かったと今でも思っています。みなさんにもそんな経験がありますか？たくさんのお便りを待ちしております。

暮らしのうたうた川柳

課題「記憶」

鈴木 公弘 選

平然と記憶にないとはぐらかす
 忘れたらダメだ政治家なんだから
 よみがえる前にもあったこの場面
 戦禍の記憶風化せぬよう語り継ぐ
 忘れない思いわずらう記憶力
 記憶力自信があつたはずなのに
 都合よく出たり消えたりする記憶
 新しい記憶は風に飛んでいく
 素うどんが二十五円の記憶です

湯梨浜町 亀谷 泰子
 兵庫県 小田 龍聖
 倉吉市 堀 かずこ
 湯梨浜町 川口 亜矢
 北栄町 西村奈保子
 湯梨浜町 志田美智子
 倉吉市 山本 滋
 倉吉市 山松みち子
 琴浦町 安岡 久子

【今月の佳吟】

記憶の中の節目節目の悔いの跡

倉吉市 山崎恵美代

(評) なんと「の」が多いだろうと直感された方へ作法解説をしておきたい。「…の…の…」という作り方を「の重ね」と言う。「の重ね」は、最後に置いた言葉(この句の場合は跡)を説明する場合に用いるケースが多い。そこで一般には、物語や内心の解説・状況のお知らせ程度の句は「川柳は文芸である」と言える次元ではないから「の重ね」の句を作るなど言われる。以上が原則論である。しかし、この句のように、言葉と言葉の繋ぎをすべて「の」にして完成させた姿を見て一つの芸術作品だと思えないだろうか。ここまで徹底すると文芸だと言うべきかもしれない。
(投句総数62)

※次号の課題は「愛」です。締切3月23日月)必着

住所、氏名、雅号もフルネームをご記入下さい。電話番号、作品1人三句以内を裏表紙にある応募用ハガキでお送りください。応募をお待ちしております。

◆今後の課題「涙」 締切4月20日月)予定



小田 秀 料理探究家

ヘルシー!おしゃれ♥なCaféレシピに定評がある。
 安全安心な食材を用いた、健康を意識した料理を探究中。
 料理教室を開催している。管理栄養士、サプリメントアドバイザー、健康運動指導士などの資格を持つ。

桃の節句も過ぎて、快い季節になってきました。ブロッコリーを使ったお手軽なドリアをご紹介します。

ブロッコリーのとうふドリア

歯ごたえのあるブロッコリーがアクセントに♪ ホワイトソースをヘルシーなとうふのクリームにしました。ツナが入り、さっぱりしたごはんがよく合います。

材 料(4人分)

豆腐(絹) ……………350g	☆ ツナ缶詰 ……………70g
牛乳 ……………100ml	☆ しょうゆ ……………小さじ1
※ 砂糖 ……………小さじ1	バター ……………10g
塩 ……………小さじ1/4	ブロッコリー ……………80g
黒こしょう …少々	水(ブロッコリー用) ……大さじ1
温かいご飯 ……………400g	ピザ用チーズ ……………80g

作り方

- ① オープンを240℃に予熱する。ツナ缶の汁は軽くきる。ブロッコリーは小房に分けて、耐熱ボウルに入れ、水をかけラップをして600Wのレンジで1分30秒加熱する。
- ② ボウルに豆腐を入れて泡だて器でつぶし、※を加えてなめらかになるまで混ぜる。
- ③ グラタン皿にご飯を入れ、☆を加えて混ぜ合わせる。②をかけてブロッコリー、ピザ用チーズのせ240℃のオーブンで約10分、焼き色がつくまで焼く。



ブロッコリーは、味や香りにくせがないので、コクのある料理にもお勧めです。ほのかな甘みをお楽しみください。

【お願い】

片面全てにのりを付け、“**全面密着**”でご投函していただきますようお願いいたします。

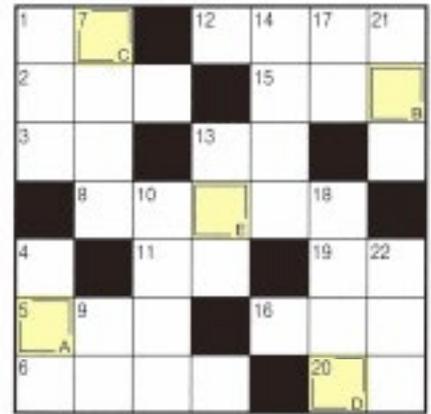
※「のりしろ」部分に空洞があった場合、郵便ハガキとして受理されない場合がございますので、ご注意ください。

折
り

のりしろ

アタマの体操 **クロスワードパズル** 今月のプレゼントは **「直売所の加工品」**

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



A B C D E

--	--	--	--	--



2月号の答え **ジンチヨウゲ**

タテのカギ

- 1 ピニール—の中で作物を育てた
- 4 ビッ、ビッ、ビッ、ポーン
- 7 口紅を片仮名言葉でいうと
- 9 メロンやズッキーニもこの仲間
- 10 ハワイの代表的なビーチリゾート。ダイヤモンドヘッドが見えます
- 13 視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚のこと
- 14 臭いため嫌われやすい昆虫
- 17 国語、数学、—、社会
- 18 ウナギの内臓を使って作る汁物
- 21 菜の花の咲く頃に降る—梅雨
- 22 土壌の上で靴をいませ

ヨコのカギ

- 1 冬が終わるとやって来ます
- 2 羊やアルパカの毛のこと
- 3 スナッフエンドウの下処理の際に取る物
- 5 掃き掃除をするときに使います
- 6 欲しかった商品が—になっちゃった……残念
- 8 瞬間—の蛇口から熱湯をくんだ
- 11 契約書や伝票に押します
- 12 ハトの形をした笛
- 13 輪—、消し—、—手袋
- 15 物の重さのこと
- 16 選挙の立候補者が肩から掛けます
- 19 木がたくさん生い茂っている所
- 20 患者を診療する人

応募要項

下記「応募ハガキ」に、クイズの答えをお書きの上、応募締切までに切り取ってポストへ投函するか、各支所へお持ち下さい。
 ※通常ハガキ・FAX・メール・HPからも応募可能です。クイズの答えの他「良かった記事・住所・氏名・電話番号」をお書きの上ご投函下さい。

- 応募締切 3月30日(月) 当日消印有効
- 応募先 〒682-0867 鳥取県倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課宛
- FAX 0858-23-3070
- Eメール kouhou@ja-tottorichuou.or.jp

※当選は発送をもってかえさせていただきます。個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。

QRコード:

HPでも応募できます

鳥取中央農業協同組合

●アンケートにお答えください。

「ドリームちゅうおう3月号」良かった記事は? (複数回答可)

<input type="checkbox"/> 表紙	<input type="checkbox"/> 直売所探検隊
<input type="checkbox"/> 特集	<input type="checkbox"/> あなたもチャレンジ! 家庭菜園
<input type="checkbox"/> ~次代を担う~ 産地の産からのメッセージ	<input type="checkbox"/> 読者からのお便り紹介
<input type="checkbox"/> 女性会・青年部部の活動紹介	<input type="checkbox"/> 暮らしをうたう川柳
<input type="checkbox"/> 地域情報発信室	<input type="checkbox"/> 旬をたべちゃお! おうちでごはん!
<input type="checkbox"/> トピックス	<input type="checkbox"/> クロスワードパズル

良かった理由:

●クロスワードパズルに応募される方はお書きください。

(※応募されない方は空欄で構いません) ※クロスワードの「クロスワードパズル」の答え 正解者の方には、抽選で「直売所の加工品」をプレゼント致します。

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

●次号のお便りのお題「苦勞はしたけど、良かったなあ〜と思えること」を教えてください。また、「暮らしをうたう川柳」への応募、JA鳥取中央グループに対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

※ドリームちゅうおう誌面にて発表することがありますのでご了承ください。

(ペンネーム:)

郵便はがき



倉吉市越殿町1409
 鳥取中央農業協同組合
 総務部 広報課 宛

住所	
氏名	
電話番号	

※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。